

トヨタ純正

サイドバイザー

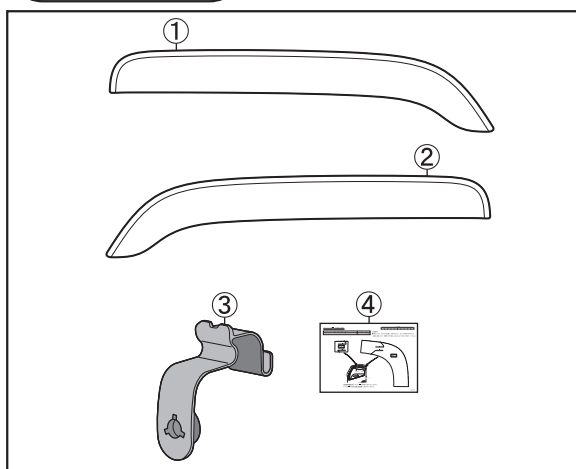
取付要領書

このたびは、トヨタ純正サイドバイザーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、サイドバイザーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

74310-37890 | 74310-37F90

構成部品



補給部品

No	品名	品番	個数
①	サイドバイザー	RH 74351-37090	①、③×2、④
②		LH 74352-37090	②、③×2、④
③	ブラケットセット	74306-37090	4
④	型紙	—	1

取り付けに必要な工具等

ウエス、脱脂剤等【イソプロピルアルコール(IPA)純度100%推奨】ドライヤー、スケール、マスキングテープ
はさみ、脚立

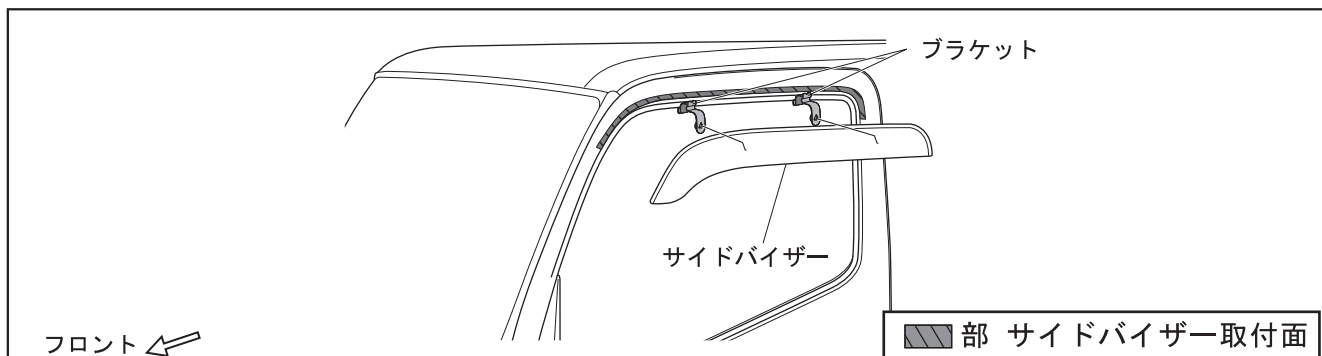
取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

- ▲ 注意** … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。
- 注意** … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。
- ℹ アドバイス** … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (1) 両面テープでサイドバイザーを取り付けますので取付面は必ずきれいにしてください。
- (2) 脱脂剤等を使用される場合は、火気に十分注意してください。

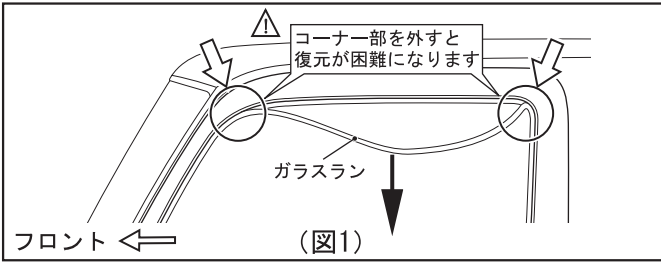
取付概要



取付要領

アドバイス

本取付要領は左側を示します。右側も同様に行ってください。
添付されております型紙A、Bは右側に取り付け時も裏返し使用します。
左側取り付け後は破らないようにきれいに剥がしてください。

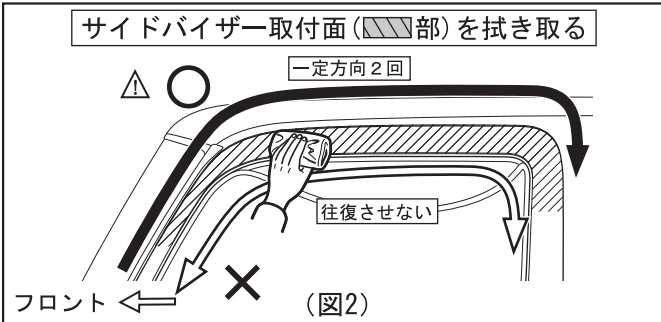


取付面の拭き取り

- (1) ドアを開け、窓ガラスを下げ、ガラスランを取り外す。(図1)

注意

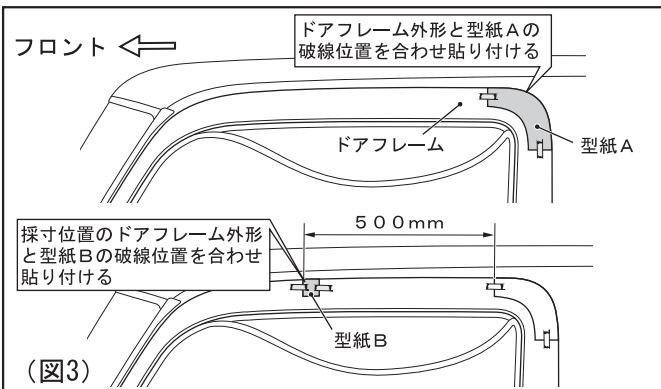
- ・ガラスランはコーナー部を外すと復元が困難になりますので外さないよう手で押さえて作業を行ってください。



- (2) サイドバイザー取付面(斜線部)の水分、汚れや油分を脱脂剤等で確実に拭き取る。(図2)

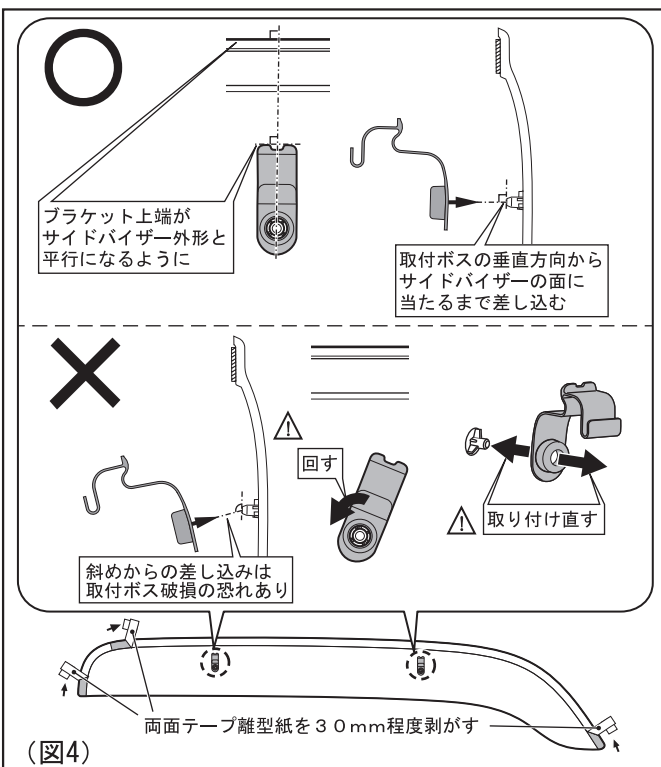
アドバイス

- ・取付面の拭き取り作業は必ず行ってください。拭き取りが不十分な場合、剥がれ、水入り、異音発生の原因となります。
- ・往復の拭き取りは行わず、一定方向に2回以上拭き取りを行ってください。



型紙の貼り付け

- (1) ドアフレームの外形と型紙Aの破線位置を合わせ、マスキングテープで貼り付ける。(図3)
- (2) 型紙Aから500mmを採寸した位置のドアフレーム外形と型紙Bの破線位置を合わせ、マスキングテープで貼り付ける。(図3)



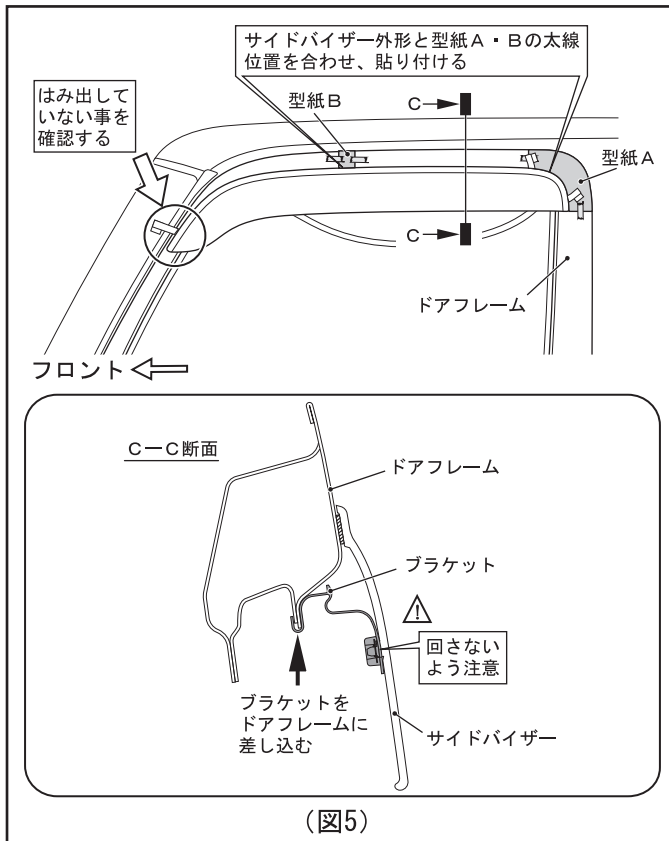
取り付け前準備

- (1) ブラケットを上端がサイドバイザー外形と平行になる位置で、取付ボスの垂直方向から本体面に当たるまで押し込んで取り付ける。(図4)

注意

- ・ブラケットは、回したり、取り付け直すと外れる原因になります。

- (2) サイドバイザーの両面テープ離型紙をめぐり、外側に折り曲げる。(図4)



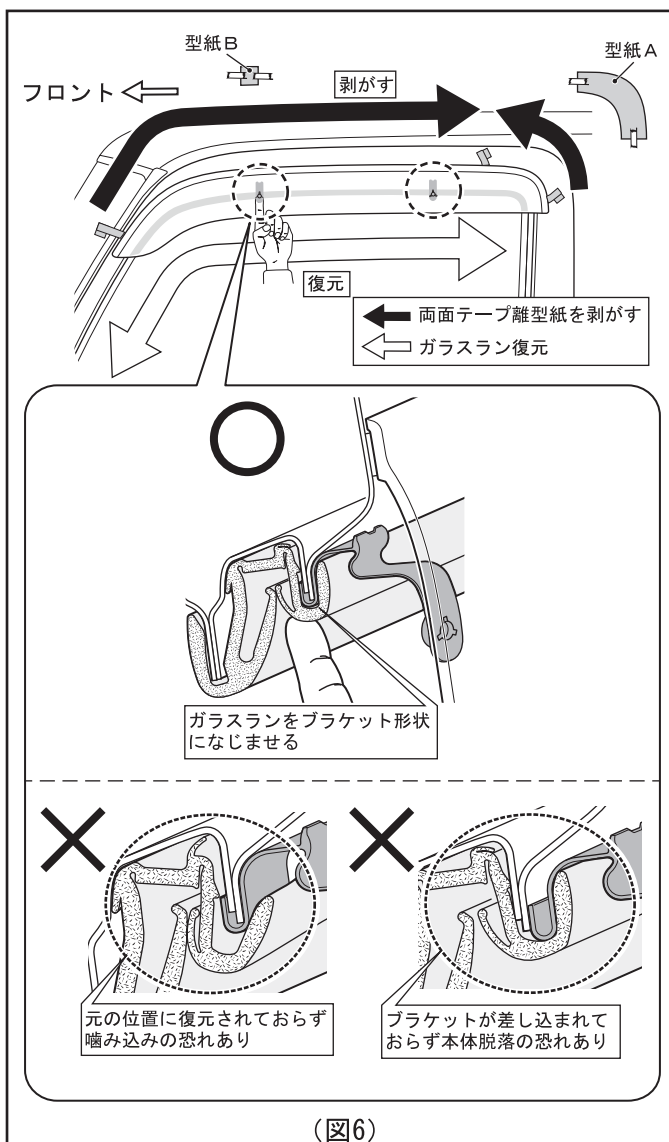
(図5)

・ブラケットの取り付け

- (1) サイドバイザー外形を型紙A、Bの太線位置に合わせ取り付け、ブラケットを回さないように、ドアフレームに差し込む。(図5)
- (2) サイドバイザー先端がドアフレームからはみ出していない事を確認する。(図5)

▲ 注意

- ・ ブラケットをドアパネルに差し込む際は、回さないよう注意してください。
- ・ サイドバイザー先端をはみ出して取り付けますと、車両との干渉やケガをする恐れがあります。



(図6)

・ガラスランの復元/サイドバイザーの接着

- (1) ドアフレームにガラスランをはめ込み、なじませる。(図6)

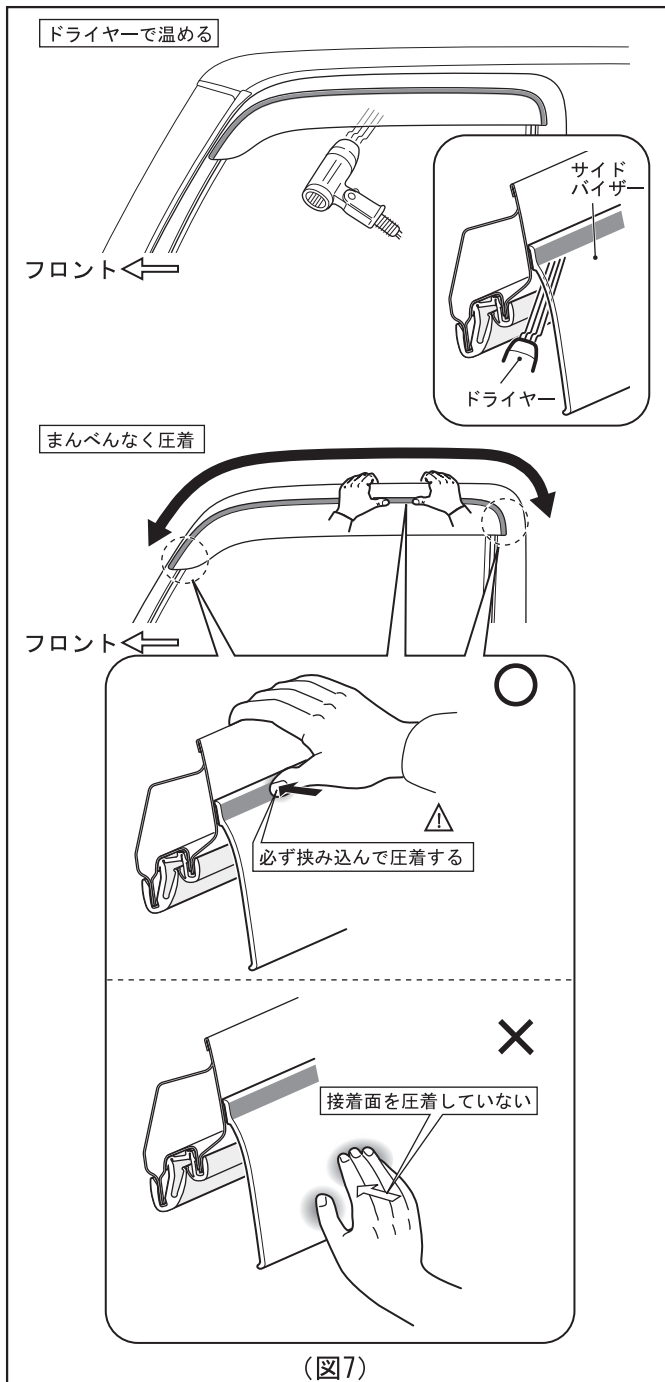
注意

- ・ ガラスランを元の状態に戻さないとガラスラン噛み込みや、ブラケット外れの原因となります。
- ・ ブラケットがドアフレームに差し込まれずにガラスランをはめ込むと、本体脱落の原因となります。

- (2) サイドバイザーの位置決めが確実にされている事を確認する。(図6)
- (3) 両面テープ離型紙がねじれないように剥がし、サイドバイザーを接着する。(図6)
- (4) 型紙A、Bを剥がす。(図6)

注意

- ・ ずれた状態で取り付けますと、車両との干渉、剥がれ、水入り、異音発生の原因となります。
- ・ 作業環境(湿度・湿気)に注意してください。

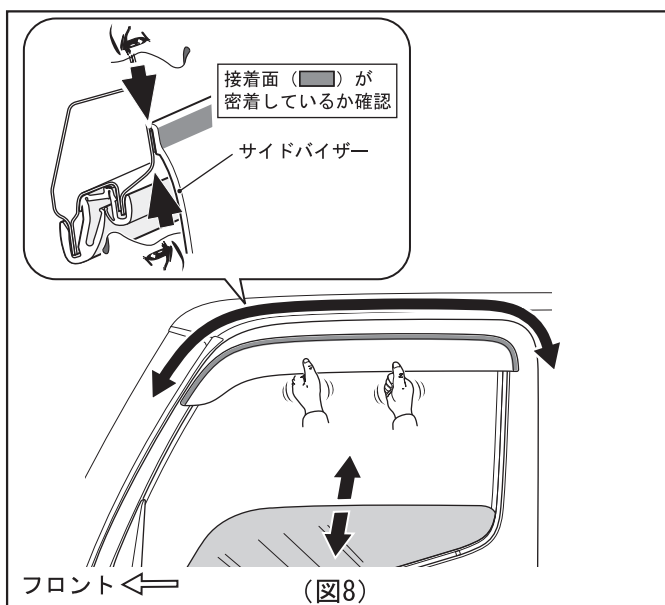


・接着面の加温及び圧着

- (1) 両面テープ接着面(■部)を、まんべんなくドライヤーで約30秒間、人肌(約40℃)程度に温めた後、手で挟みこむように49N以上の力(少なくとも車両が揺れる程度)で圧着する。(図7)

▲ 注意

- ・両面テープ接着面、特に前端や後端(○部)は、確実に圧着してください。圧着不足で浮いた状態の場合、ケガや剥がれ、水入り、異音発生の原因となります。
- ・やけどには十分に注意して作業してください。



・取り付け後の確認

- (1) サイドバイザーを上下からのぞき込み、両面テープ接着面(■部)が取付面全体に密着しているか確認する。(図8)
- (2) サイドバイザーを軽く手前に引き、確実に取り付いている事を確認する。(図8)
- (3) 窓ガラスを上下させ、ガラスランの噛み込みがないことを確認する。(図8)

注意

- ・取り付け後20分程度は、雨、水等でぬれないように必ず放置してください。両面テープ剥がれの原因となります。